

シヨツカクセンサをPR

佐竹製作所グループのタッチエンス

(株)佐竹製作所のグループ会社であるタッチエンス(株)(東京都台東区。尾方謙一社長)は、4月下旬に東京・両国の第一ホテル両国KFCホールで開催された「MEMS Engineer F

orum(「MEME」)に参加。ベストセラー製品の「シヨツカクセンサチップ」の出展及びプレゼンテーションをおこない、今後のセンサー分野での幅広い用途に対応可能な点をPRした。

タッチエンスのプレゼン会場(下)と丸山部長



MEMEは、21世紀のキーテクノロジーとされるMEMS(マイクロエレクトロメカニカルシステム)の微細加工技術によりセンサー、電子回路などを集積したデバイス(技術の現状と今後について、世界各地からエンジニアが集まり情報交換を

目的とする場。講演セッション、技術展示、出展者プレゼンテーションがおこなわれた。

タッチエンスの取締役事業開発部部長の丸山尚哉氏は、MEMS技術を用いた製品「シヨツカクセンサチップ」を紹介した。同製品は、センサー1つで3軸方向の力を直接計測可能なことに加え、小型・薄型のため、平面だけでなく曲面にも実装できるのが特長。6

軸方向の力を計測できるタイプもラインナップに加えている。

丸山氏は、市場に流通している既存のセンサー類と自社製品についてそれぞれの特長を解説した。当社製品は3軸センサーの小型化に成功したことで幅広い分野へ応用できます。また、量産化体制を整えコストダウンを実現しました。皆様にも活用のご検討をお願いします」と語った。

展示ブースでは、3軸および6軸シヨツカクセンサチップのサンプルも展示して使用例を紹介。ガラス瓶に取り付けたセンサーを来訪者が押し、その力をモニターでグラフ化してビジュアルに示すなど機能をわかり易くPRした。